

Return to



もう一度、 歯科技工士に 戻ってみませんか！

今、歯科技工士数は減り続けています。そして15年後には、現在の50代、60代以降の技工士が大量にリタイヤするため、歯科技工士が不足することが、調査により判明しています。一時期は歯科技工士供給過多が起こり、専門学校を卒業しても就職することが難しい時もありました。しかし、これからは歯科技工士が希少価値となる時代が必ずやってきます。その時に備えてもう一度、歯科技工士として働くことを考えてみませんか？

歯科技工士は1990年当時、30歳以下は約10,000人、50歳以上は約4,500人でした。それが現在では、30歳以下はわずか4,500人、50歳以上は15,000人という年齢構成に変化しました。しかも、歯科技工士総数は1998年の約37,000人をピークに、現在では約34,000人にまで減少を続けています。歯科医師数や歯科衛生士などの医療従事者数は増え続けているのに、歯科技工士だけが減少しているのはなぜか。日本歯科医師会が調査を行ったところ、歯科技工士の労働環境や労働条件があまりにも悪かったことが原因で離職する方が多いことがわかりました。そこで、福島県歯科医師会は、そのような労働環境、労働条件を改善すべく歯科医師や歯科技工士に対して指導していくとともに、離職してしまった方に、もう一度歯科技工士として仕事ができるようお手伝いをいたします。

特にブランクが長く、自信を持ってない歯科技工士に無料で研修会を行ったり、希望する労働条件で仕事ができる歯科医院や歯科技工所を紹介するシステムを作りました。

今は復職する意思はないが、研修会だけ受けてみたいと思っているあなたも、悩み事を相談したいというあなたも大歓迎です。まずはお電話ください。

今、歯科技工士として
働いていないあなたに

